

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393200072
事業所名	せんねん村グループホームとみやま

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、季節の祭りや産業祭り、体操教室などイベントの参加や町内の清掃、防災訓練の見学や体験などを行い、地域の一員として交流を図っている。産業祭りではブースを受け持ち、入居者も一緒に手作りケーキなどを出店し売り子になって楽しみながら役割を担っている。保育園児とのふれあい遊びや小学校の敬老会、中学校の福祉体験の受け入れ等教育機関との交流や地域の福祉体験の場を提供している。また、看護学生のボランティアなどの受け入れもしている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は土曜日と金曜日隔月に開催し、関係者が参加しやすいよう配慮している。市担当者や包括支援センター職員が交代で毎回出席をしている。各ユニットを隔月交代で会場にして、入居者も意識を新たに積極的に参加し、年間計画などに関して意見を頂いたりするなど、会議の内容を運営に活かしている。運営推進会議の記録はファイルにして閲覧できるようにしており、家族にも配布している。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	認定の更新、事故の報告、困難事例の相談、他市の介護状況などの情報交換など、連携や連絡を取り情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。介護相談員の訪問も年12回ある。職員は市や協議会主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるように努めている。また、管理者は地域の認知症講座や研修会の講師を務めるなど密接な関係を継続している。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	入居者の意見や要望は日常の会話や表情から読み取り、ケアに反映している。家族からは面会や行事、ケアプラン作成時などで意見や意向を聞きケアや接遇などの改善に役立っている。ケアに関する要望は細かくケアプランに反映させ、全職員が共有し実施している。意見箱の設置や家族に対する意向調査を実施し、意見を述べやすい環境を整えている。意向調査などは職員で検討し、検討状況などをホーム便に掲載して家族へ周知をしたり、家族からの良好な反響を得ている。事業所全体や個人向けのホーム便りを発行して家族に安心を届けている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎